



～戮力協心～ NO.23

2024年3月6日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

会社:ベアについて『昨年以上の金額が提示できるよう』にしたい。

組合:要求から乖離があり、額要求していることを改めて主張する!

2024 JR総連春闘第3回交渉～会社の考え～

中央本部は3月6日に「24春闘第3回交渉」を行ないました。

会社の考え

- ・昇給額表に応じた昇給は行なう。ベアについては、『昨年以上の金額が提示できるよう』にしたい。『率か額』なのかは決まっていないが、標準生計費という考え方である。
- ・物価上昇の認識としては3.2%と認識しており、実質賃金低下していることも理解する。
- ・次年度の事業計画は黒字を計画する予定である。
- ・離職の原因は、賃金だけではない。労働力不足について、業務の多能化をはじめ、働き方改革の一環として貴組合と議論していきたい。

青年部の主張

- ・前回の交渉でも言ったが、青年部は率回答ではなく、額回答を求めている! 会社は『標準生計費』を未だにに言うが、公務員などは今回、若年層に手厚い賃上げ方向だ! 社会的に労働力不足からくる人材確保のための賃上げをしている中で、標準生計費を理由にすることは社会の流れからズレている! 考えを改めるべき!
- ・次年度は黒字計画ならば当然人件費を手厚くするべき! 2024年問題で脚光を浴びている時に賃上げが低額ならば企業として選択されない。要員不足が解消されないのでは、社会的使命を果たせなくなってしまう。離職防止と選択される企業とするためにも満額回答をするべき!
- ・人材確保のために学校回りなど、支社が奮闘しているが、求人票の就労条件では勝負できないという苦労話を聞いた。ベアは当然ながら、休日数も増やしていかななくてはいけない! 支社の後押しのためにも賃上げと諸要求の改善をするべき!
- ・運賃値上げの主旨を業界紙で見たが、物価高への対応が主たる理由であることが書かれていた。他社では「社員待遇改善のため」という言葉が入っているのに、なぜJR貨物はそういう言葉が入っていないのか? 「社員にやさしい会社」と言うが、そういう部分で会社の悪い部分が見えてしまう! 満額回答で会社姿勢を見せるべき!!

**ベアについて、「昨年以上を提示したい」ということから平均1,000円を多少超える程度で済まそうとしています!
我々は12,000円の額要求をしていることを強く訴え、満額回答にむけて山場を全員で闘い抜こう!**